

岩手中部水道企業団漏水調査等業務委託公募型プロポーザル評価基準

プロポーザルの評価は、業務に対する理解度、業務提案書の的確性、業務経験及び実績、実施手順や業務体制、見積・積算金額の妥当性等を基準として行います。また、公共サービスの担い手として高い倫理観を持ち、災害や事故等に対する危機管理体制の構築、水道事業の効率化に寄与する業務提案がなされているかという点も考慮します。

1 業務提案書の評価基準

業務提案書の記載内容について、評価の際重視するポイントは以下のとおりです。

(1) 会社概要

ア 会社の規模や経営状況等を総合的に考慮し、将来にわたり安定的な業務の運営が期待できるか。

イ 当該委託業務と同様の受託実績がどの程度あるか。

(2) 業務実施体制

ア 業務の円滑な遂行のために、責任をもって業務を遂行できる能力と立場にある人員（資格、経験、年齢等）をどのように配置できるか。

イ 業務の円滑な遂行のために、業務を遂行できる能力のある人員（人数、資格、経験、年齢等）をどのように配置できるか。

ウ 業務の指揮命令系統及び責任体制の確立、現場従事者との関わりが明確か。

エ 安全管理や社員教育等についてどのように考えているか。

(3) 業務実施計画

ア 調査方法や業務スケジュールをどのように考えているか。

イ 調査機材の管理方法や必要機材の確保は十分か。

ウ 調査における重点項目と目標設定をどのように考えているか。

エ 有収率を向上させるための方策、提案が適切か。

オ 提供される配水量や有収水量のデータをどのように活用するか。

カ 調査で得られた漏水情報をどのような提案に活用するか。

(4) 個人情報保護体制

ア 個人情報の流出等を未然に防止する方策と万が一流出した場合どのような対策、対応がとれるか。

(5) 緊急対応等危機管理体制

ア 大規模漏水や緊急漏水調査に対する対応はどのように考えているか。

イ 自然災害やその他災害が発生した場合、企業団に対して会社としてどのような応援体制がとれるか。

ウ 業務中の事故や、従業員による不法行為等があった場合、どのように対応す

るか。

(6) 課題解決体制

- ア 現場だけでは解決できない課題に対する解決体制及び専門知識を持った者等の活用がとれるか。
- イ 現場からの支援要請に対する組織的なバックアップ体制がとれるか。

2 提案見積金額の評価基準

提案見積金額の評価は、次の計算式で点数を付与します。

$$\text{点数} = [0.5 - \{(\text{提案見積金額} - \text{全参加事業者の提案見積金額の平均}) \div \text{全参加事業者の提案見積金額の平均}\}] \times \text{配点}$$

なお、 $[0.5 - \{(\text{提案見積金額} - \text{全参加事業者の提案見積金額の平均}) \div \text{全参加事業者の提案見積金額の平均}\}]$ の値が、負の値となるときは「0」とし、1を超えるときは「1」とします。

また、点数に小数点以下の端数があるときは、小数点第一位を四捨五入します。

3 業務提案書及び提案見積金額の配点

業務提案書の各記載項目及び提案見積金額の配点は次のとおりです。

項 目	配点
会社概要	20
業務実施体制	36
業務実施計画	40
個人情報保護体制	4
緊急対応等危機管理体制	12
課題解決体制	8
提案見積金額	30
合計	150

4 受託候補者の選定

- (1) 岩手中部水道企業団漏水調査等業務委託受託候補者選定委員会（以下「委員会」という。）において評価基準に基づき、それぞれの参加事業者の提案書等を各項目につき評価及び採点を行い、総合得点が最も高い者を受託候補者として選定します。
- (2) 総合得点は、委員会の各委員の評価点数を合計し、その平均点を採用します。小数点以下の端数があるときは、小数点第二位を四捨五入します。
- (3) 総合得点が最も高い参加事業者が2者以上あるときには、当該事業者の中から次の項目を順に判定し選定を行います。

- ①業務実施計画に関する項目の得点が高い方
 - ②業務実施体制に関する項目の得点が高い方
 - ③提案見積金額に関する項目の得点が高い方
- (4) 総合得点が75点未満の場合は、受託候補者として選定いたしません。